

# 2018年度事業報告

## 特定非営利活動法人 陣屋

### 1. 実施事業のまとめ

- ・諸事業を支える主たる収益事業(福祉サービス)については、撤退する事業所の関係で問合せはあるが、従事者不足のために対応することが困難であった。
- ・福祉有償運送については、岡山市、赤磐市ともに問い合わせは増えているが、運転者不足の中できる範囲で対応することで事故なく活動することができた。
- ・西日本豪雨災害によって、避難時の弱者支援、復興時の移動の確保等多くの課題を再認識し、改めて住民主体の外出支援の仕組みづくりが優先課題であると感じた。
- ・太陽光発電についての学習会を通して、赤磐市行政との連携による「環境基本条例を市民協働でつくる会」に参加することで環境問題に関心の高い住民の

### 2. 実施事業の詳細

\* 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容と2018年度の概要	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(単位千円)
非収益部門 あつたか地域づくり事業	I 興除公民館での子育て支援活動 陣屋設立当初のスタッフの居住地域の活動として定着 非会員の協力者、地域外の親子の参加もあり 興除公民館の大切な地域資源となっている	第2金曜日10:00～ 定例会  毎週火曜日午後	南区中畦589-1 興除公民館  スタッフ自宅	2名	子育てひろば 参加者(親子10組)	
	II まったり・息抜き事業 1. 以前からのつながりや、ちゃぶだい利用者・家族から不定期に、 相談あるいはおしゃべりの電話が継続。スタッフ2名で対応。	随時	北区今2-17-27 陣屋事務所 赤磐市山陽3-7-42 赤磐事務所	2名	家族2名 障がい・ 高齢者計5名	
	2. サロン活動としての地域文庫「まちねこ文庫」 利用者の定着に至らないが続けていきたい。	毎週(日)午後2時～4時	赤磐市山陽3-7-42 陣屋赤磐事務所	1名	山陽地区住民 不特定多数	
	3. Be・助っ人事業: 制度の隙間のニーズに対応する事業として、 制度外で生活支援を行う。ちゃぶだい・福祉有償運送の利用者の 希望時に、必要性を話し合った上で対応する。ガソリン代等実費 徴収で原則無償。受診支援、買い物同行等。	随時	利用者宅または 外出先	4名	ちゃぶだい 利用者6名	
III 研修・啓発事業 1. 陣屋 ①「太陽光発電の現状を知る 学ぶ」学習会 ②赤磐市で外出支援に携わる市民のネットワークづくりに向けて市の 状況を公共交通総合連携計画等で学習 ③岡山市、赤磐市の地域公共交通会議の傍聴(赤磐市7回中4 回傍聴、岡山市傍聴できず) ④「さとにきたらええやん」自主上映会開催	①総会後公開学習会 ②理事会開催日 2018年4/14、6/9、 8/4、10/13、12/8 2019年3/30 ③2018年4/19、6/6、 9/10、10/22(全7回中 4回) ④2018年7月22日	①赤磐市下市337 赤磐市中央公民館 ②赤磐市山陽3-7-42 陣屋赤磐事務所 ③赤磐市下市344 赤磐市市役所 ④赤磐市下市337 赤磐市中央公民館 大集会室	①18名 ②6名 ③1名 ④5名	①太陽光発電設置 の現状に関心のあ る住民18名 ②③赤磐市の 移動困難者・弱者 またはその予備群 ④参加者 79名		

非 収 益 部 門	あ っ た か 地 域 づ く り 事 業	2. ちゃぶだい関係 ①内部研修「反復的な依存症について」 ②外部研修「介護予防交流フォーラム」	①2018年6月～11月 ヘルパー会議時 ②2018年9月27日	①岡山市北区今2-17- 27 陣屋事務所 ②岡山市北区下石井1-2 -1おかやま未来ホール	①4名 ②1名	①②ちゃぶだい 利用者15名及び 福祉有償運送利用 者10名	
		3. 福祉有償運送関係 運転者講習会	2018年① 7/21～22 ②11/15～16、 ③12/3～4	①灘崎文化センター ②赤磐市中央公民館 ③おかやま西川原プラザ	①1名 ②2名 ③1名	陣屋福祉有償運送 利用登録者	
		3.移動ネットおかやま ①「登録不要の外出支援」出前講座ボランティア(NPO法人たけのこ 主催) ②真備町災害支援(移動・入浴支援) ③岡山県通所付き添いサポーター養成講座ボランティア ④2018年度福祉移送ネットワーク講座「道路運送法上の許可又は 登録を要しない運送等について」及び「被災地での移動支援のあり 方」他	①2018年7月17日 ②2018年8月～9月 月、木曜日 ③2019年3月15日 ④2019年2月19日	①中央図書館多目的ホー ル 赤磐市下市325-1 ②真備町公民館菌分館 (福祉避難所) ③御津運転免許センター 岡山市北区御津中山444 -3 ④岡山市北区南方2-13 -1きらめきプラザ	①～③ 1名 ④2名	①③④ 県下各地域の 移動困難者・弱者 ②真備町水害被災 高齢者	
		①介護保険制度による国の事業としての身体介護、家事援助等。 個別指導は2019年度に持ち越しの可能性。 ②自治体の地域生活支援事業:介護保険制度からはずれた軽度 者(要支援認定者)の生活支援。次年度に個別指導の可能性大。 ③障害者総合支援法による国の事業としての身体介護、家事援助 等。長期利用の方が多くなり、関係性を維持できていることが評価 できる。 ④自治体の地域生活支援事業: 移動支援の需要は多いが、どの 事業所も対応できていない状況が恒常的。本当に必要な方はどう しているのかと思われる。	月曜日～土曜日 9時～17時	利用者宅 利用者宅 利用者宅 利用者自宅～ 外出先～自宅	1名 3名 3名 2名	1名 5名 10名 3名	
収 益 部 門	福 祉 有 償 運 送 事 業	楽箆(らっこ)運送:運転者3名に持ち込み車2台で岡山市の対象 者に対応。新規の相談が頻回にあるが、ヘルパー兼務のため対 応できていない。	月曜日～金曜日 9時～17時	利用者宅から 外出先の往復	3名	登録者52名	
		カメさん:運転者3名に公用車1台、持込み1台で赤磐市山陽地域 の対象者を主にに対応。長年実績のある事業所が撤退したこと により、透析患者の方を主に問合せが増えている状況。	月曜日～土曜日 9時～17時		3名	登録者16名	







